

祝 成人



新成人おめでとう

平成24年甲佐町成人式

新成人122人の大人の
門出を盛大に祝う

1月8日(日) 町生涯学習センターで、平成24年甲佐町成人式が開催されました。

今年の新成人は、平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれが対象で、町内の対象者は122人。式典には100人が出席しました。

式典では、米村千晶町教育委員長が「成人おめでとうございます。これまで歩んできた自分の道を思い出し、成長するあなたのことを喜ぶ家族、恩師、友だちに感謝してください。そして、社会に貢献する大人になって、人に名前を覚えてもらえる人生を歩んでください」と式辞を述べました。

各地区の新成人代表が新成人全員の氏名を紹介した後、奥名克美町長が「坂本龍馬のような新しいリーダーを求める今の日本には、時代を動かす若い力が必要です。成人と共に手にした権利を行使して、未来のために社会に参加してください」と告辞。本田新町議会議長が祝辞を述べ、甲佐中学校生徒代表の井芹植吾くん(2年・山出区)が「激励の言葉」を述べました。

続いて、新成人への町からの記念品が矢鍋毅幸さん(岩下一

成人を迎えた 私たちの使命



森田 健太郎 さん
(緑町区)

この度は、成人という大きな節目を迎えた私たちの門出に
対し、このような盛大な成人式を催していただき誠にありが
とうございます。また式を行うにあたり、準備をして下さ
った皆様にも心からお礼申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災がありました。被災地は、今も
なお大変な状況が続いており、日本全体で改めて人々が手
を取って助け合う大切さを実感することになりました。一人の
成人となった今、私たちも社会に貢献する必要があること
を強く感じています。現在、私は大学で薬学を専攻していま
す。まだまだ知識は薄いですが、一生懸命勉学に励み、将来
は多くの人の命を助ける薬の開発に携わりたいと考えていま
す。そして、今後同じような災害が起こった際にも、少しで
も人の役に立てればと思います。

地震と津波により、被災地の豊かな自然は失われてしま
いました。自然は、簡単に元に戻るものではありません。私
たちの故郷である甲佐町の自然は、かけがえのないもので
す。私は現在、甲佐町を離れて暮らしています。自分の故郷
を見たときに、豊かな自然や温もりのある人々など故郷の良さを
改めて感じるとともに、故郷を誇りに思う気持ちが、心の底
から溢れてきました。私たちが生まれ育った、大好きな甲佐
町を次の世代に受け継いでいくことが、私たちの使命だと思
います。

最後に、幼いころから見守ってくださった地域の方々、諸
先生方、友達、家族に感謝し、この成人としての初心を心
に留め、これからの人生を歩んでいこうと思います。



再認識した 将来の夢を胸に

高見 眞菜 さん
(東寒野区)

本日は、私達のために盛大な式典を開催していただき、誠
にありがとうございます。懐かしい顔ぶれと、成人という
人生の大きな節目を迎えられることをうれしく思います。

先日、中学3年生の私からの手紙が届きました。正直そん
な手紙を書いたことすら忘れてしまっていて、何が書いてあ
るのかびくびくしながら開封しました。すると、5年前の私
の夢を恥ずかしいくらい一生懸命に綴っていました。今読む
と暑苦しいくらいまっすぐなその手紙のおかげで、自分の将
来の夢を再認識し、決意を新たにすることができました。こ
の気持ちを胸に、これからも邁進していきたいと思えます。

最後になりますが、学校で時にはやさしく時には厳しく指
導してくださった先生方へ、仲良くしてくれたクラスメイト
や部活動の友人たちへ、そして日々の生活でお世話をしてく
だされた地域の方々へ、心から感謝を申し上げます。それか
らここまで育ててくれた両親へ、本当にありがとうございました。まだまだ親孝行するには時間がかかりそうなので、気
長に待っていてもらえるとうれしいです。



区)に贈呈され、増永大樹さん
(横田区)が「交通安全宣言」
を宣言しました。
最後に、大友春佳さん(津志
田区)が新成人を代表して「盛
大な式典を開催していただき、
心からお礼を申し上げます。晴
れて大人の第一歩を踏み出した
喜びと、責任と義務を負う緊張
でいっぱいです。家族のたくさ
んの愛情を受けて、成人するこ
とができました。東日本大震災
で大きな被害を受けた日本の復
興のため、家族や地域のため、
絆(きずな)を大切に高い志を
持って社会に貢献したい」と
「誓いの言葉」を述べました。